

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号
特許第3572005号
(P3572005)

(45) 発行日 平成16年9月29日(2004.9.29)

(24) 登録日 平成16年7月2日(2004.7.2)

(51) Int.Cl.⁷
A 6 3 B 55/06

F I
A 6 3 B 55/06

請求項の数 14 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2000-257195 (P2000-257195)	(73) 特許権者	591086452 カーステン マニュファクチュアリング コーポレーション アメリカ合衆国 85029 アリゾナ, フェニックス, ウェスト デザート コウ ブ 2201
(22) 出願日	平成12年8月28日 (2000.8.28)	(74) 代理人	100091742 弁理士 小玉 秀男
(65) 公開番号	特開2001-79127 (P2001-79127A)	(74) 代理人	100108512 弁理士 村瀬 裕昭
(43) 公開日	平成13年3月27日 (2001.3.27)	(72) 発明者	グレゴリ ジェイ. シュミット アメリカ合衆国 85304 アリゾナ州 グレンデイル メスカストリート 6 116ダブリュ
審査請求日	平成12年9月22日 (2000.9.22)		
(31) 優先権主張番号	09/383706		
(32) 優先日	平成11年8月26日 (1999.8.26)		
(33) 優先権主張国	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カム作動サポートスタンドと分離可能なバッグ本体とを備えたゴルフバッグ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

開放された上端 (20) を持つバッグ本体 (12) を有するゴルフバッグ (10) のためのサポートスタンド (26) であって、前記サポートスタンド (26) は、ハウジング (34) と、一対のサポートアセンブリ (48, 50) と、一対のスプリング (68, 68) と、カムレバー (70) を有し、
ハウジング (34) は、開放された上端 (20) に近接した位置でバッグ本体 (12) に装着され、上壁 (36) と底壁 (38) と内端 (40) と外端 (42) とを有し、さらに、ハウジング内部に形成されていてハウジング (34) の外端 (42) から内端 (40) にかけて相互に離れていく一対の収容溝 (44, 46) を有し、一対の収容溝 (44, 46) の各々は、ハウジング (34) の外端 (42) に近接した位置においてハウジング (34) の上壁 (36) に形成された開口 (52) を有し、
一対のサポートアセンブリ (48, 50) は、それぞれのサポートアセンブリ (48, 50) に形成されたカム表面 (58) とそれぞれのサポートアセンブリ (48, 50) に接続された脚 (62) を有し、そのカム表面 (58) が収容溝 (44, 46) に収容されている張出位置とそのカム表面 (58) が収容溝 (44, 46) のハウジング上壁 (36) の開口 (52) を貫通している引込位置との間で揺動可能に収容溝 (44, 46) に装着され、
一対のスプリング (68, 68) は、それぞれがそれぞれの収容溝 (44, 46) に装着され、それぞれのサポートアセンブリ (48, 50) を引込位置に付勢するためにそれぞ

れのサポートアセンブリ (48, 50) に係合配置され、かつ、カムレバー (70) は、一対のサポートアセンブリ (48, 50) のそれぞれのカム表面 (58) と係合作用するためにハウジング (34) に揺動可能に装着され、一対のサポートアセンブリ (48, 50) が引込位置にあるときに大体直立している位置にあり、それぞれのサポートアセンブリ (48, 50) のカム表面 (58) を押し下げて前記収容溝 (44, 46) の中に戻すように移動させることができ、そのために、一対のサポートアセンブリ (48, 50) を張出位置に移動させて一対の脚 (62, 62) が立て掛け姿勢でバッグ本体 (12) を支持するサポートスタンド。

【請求項2】

前記収容溝 (44, 46) は、ハウジング (34) の向かい合った両側に形成されている請求項1に記載のサポートスタンド。 10

【請求項3】

バッグ本体 (12) の開放された上端 (20) を取り付けるために、ハウジング (34) の内端 (40) から伸びているトップメンバ (32) を有する請求項2に記載のサポートスタンド。

【請求項4】

前記トップメンバ (32) は、前記ハウジング (34) の内端 (40) から伸びているループを形成する請求項3に記載のサポートスタンド。

【請求項5】

ハウジング (34a) は、そのハウジング中に形成された一対の間隔をもって離れた挿入溝 (86, 88) を有し、かつ、前記トップメンバ (32a) は、その一対の挿入溝 (86, 88) に装着される一対の向かい合った端部 (90, 92) を有する請求項4に記載のサポートスタンド。 20

【請求項6】

前記一対のサポートアセンブリ (48, 50) のそれぞれは、一端にカム表面 (58) が形成され他端に孔 (60) が形成されたアーム (56) を有し、かつ、脚 (62) が孔 (60) に装着されている請求項1に記載のサポートスタンド。

【請求項7】

ハウジング (34) の内端 (40) に近接した位置でそのハウジング (34) の底壁 (38) に一対の開口 (54) が形成されており、かつ、一対のサポートアセンブリ (48, 50) が引込位置にあるときに、前記一対のアーム (56) と脚 (62) が、その底壁 (38) の一対の開口 (54) を貫通して伸びている請求項6に記載のサポートスタンド。 30

【請求項8】

ハウジング (34) は、ハウジング (34) の内端 (40) に近接した位置に形成された一対の間隔をもって離れた内部壁 (72, 74) を有し、

前記カムレバー (70) は、一対の内部壁 (72, 74) に近接して配置された一対のフランジ (78, 80) を有し、

一対の揺動軸 (66, 66) のそれぞれが、それぞれの収容溝 (44, 46) にサポートアセンブリ (48, 50) を揺動自在に装着するためにその収容溝 (44, 46) を横断して伸びており、さらに、カムレバー (70) をハウジング (34) に揺動自在に取り付けるために、内部壁 (72, 74) とフランジ (78, 80) を貫通して伸びている、ハウジング (34) とカムレバー (70) と一対の揺動軸 (66, 66) を有する請求項1に記載のサポートスタンド。 40

【請求項9】

一対の揺動軸 (66, 66) のそれぞれは、一対のサポートアセンブリ (48, 50) をそれぞれの収容溝 (44, 46) に揺動自在に装着するために収容溝 (44, 46) を横断して伸びており、かつ、

一対のスプリング (68, 68) のそれぞれは、揺動軸 (66, 66) に軸装着されているコイルスプリングであり、かつ、ハウジング (34) を圧しながら係合している一端 (68b) とサポートアセンブリ (48, 50) を圧しながら係合している他端 (68a) 50

を有している、一对の揺動軸 (66, 66) と一对のスプリング (68, 68) とを更に有する請求項1に記載のサポートスタンド。

【請求項10】

バッグ本体 (12) は、ハウジング内端 (40) に近接した前記収容溝 (44, 46) を少なくとも部分的に覆う延長部 (12b) を有する請求項1に記載のサポートスタンド。

【請求項11】

開放された上端 (20) を持つバッグ本体 (12) を有するゴルフバッグ (10) のためのサポートスタンド (26) であって、前記サポートスタンド (26) は、ハウジング (34) と、サポートアセンブリ (48, 50) と、脚 (62) と、カムレバー (70) を有し、

10

そのハウジング (34) は、開放された上端 (20) に近接した位置でバッグ本体 (12) に装着され、上壁 (36) と収容溝 (44, 46) を有し、その収容溝 (44, 46) は、ハウジング (34) の上壁 (36) に形成された開口 (52) を有し、そのサポートアセンブリ (48, 50) は、ハウジング (34) の収容溝 (44, 46) に装着され、カム表面 (58) を有し、

その脚 (62) は、立て掛け姿勢でバッグ本体 (12) を支持するために前記サポートアセンブリ (48, 50) に接続され、

そのカムレバー (70) は、カム表面 (58) が前記収容溝 (44, 46) の前記開口 (52) を貫通して伸びているとともに脚 (62) がバッグ本体 (12) に並んで配置されている引込位置から、カム表面 (58) が前記収容溝 (44, 46) に収容されているとともに脚 (62) がバッグ本体 (12) と角度をもって配置されている張出位置に、サポートアセンブリ (48, 50) を移動させるために、サポートアセンブリ (48, 50) のカム表面 (58) と係合作用するようにハウジング (34) に装着されており、かつ、脚 (62) は、前記サポートアセンブリ (48, 50) が前記張出位置にあるときに、立て掛け姿勢でバッグ本体 (12) を支持するサポートスタンド。

20

【請求項12】

サポートアセンブリ (48, 50) を引込位置に導くために配置されたスプリング (68) を更に有する請求項11に記載のサポートスタンド。

【請求項13】

バッグ本体 (12) の開放された上端 (20) を保持するためのトップメンバ (32) を更に有する請求項11に記載のサポートスタンド。

30

【請求項14】

バッグ本体 (12) をトップメンバ (32) に分離可能に接続するためのファスナ手段 (96) を更に有する請求項13に記載のサポートスタンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はゴルフ道具に関する。特に、カム作動サポートスタンドと分離可能なバッグ本体とを備えたゴルフバッグに関する。

【0002】

40

【従来の技術】

普通のゴルフバッグは、ゴルファーがゴルフショットの間にゴルフバッグを持ち運びできるようにショルダストラップを備えている。ショットすべき地点に着くと、ゴルフバッグはゴルファーの肩から外され、次のショットのためにクラブが選択される間、通常直立姿勢で地面に置かれている。クラブ選択がされると、バッグを立て掛け姿勢にしておくスタンドがゴルフバッグに備えられていなければ、ゴルファーはゴルフバッグを地面に寝かせておく。前記用途用のスタンドはとても評判が良く、多くの異なった形態のものが使われている。

【0003】

従来のゴルフバッグスタンドの一形態として、一对の脚を有するものがある。その一对の

50

脚は、その一対の脚からバッグの底に位置するアクチュエータにたれさがっているロッドと協同する揺動機構に装着されている。アクチュエータを接地すると、その一対の脚は張出位置に動かされる。バッグを地面から持ち上げると、弾性ひもがその一対の脚を引込位置に導くのに使われる。この形態のスタンドが、エスマエング氏の米国特許公報第5209350号に開示されている。

従来のゴルフバッグスタンドの他の形態として、次の形態のものもある。一対の脚を含有しており、その一対の脚は張出位置と引込位置との間の移動のために揺動機構に装着されている。バッグを運ぶのに使われるショルダストラップの下端は一対の脚に取り付けられている。そのため、バッグがショルダストラップで持ち上げられると、その一対の脚は引込位置に引かれることになる。バッグが地面に置かれてショルダストラップが肩から外されると、弾性ひもが一対の脚を張出位置に動かすのに使われる。スタンドのこの形態が、イーレイマーズ氏の米国特許公報第4778136号に開示されている。

10

【0004】

更にジェイエイスルハイム氏らの米国特許公報第4834235号に開示されているゴルフバッグスタンドは、一対の脚のアッパエンドがアクチュエーティングロッド（一対の脚のアッパエンドの下でその一対の脚に接続されている）にピボット装着されている一対の脚を備えている。一対の脚とアクチュエータロッドは張出位置と引込位置の間で一対の脚を動かすトグル機構として作用する。ゴルフバッグ本体は形づくられているので、ゴルフバッグ本体の縦に伸びている側は部分的に折り畳むことができる。ゴルフバッグ本体の部分的な折り畳み（バッグ本体が垂直姿勢で下に置かれて折り畳み側の方向にかすかに傾いている）が起こるとき、一対の脚を伸ばすためのトグル機構側の一対の脚とアクチュエーティングロッドを動かす作用力が自動的に生ずることになる。バッグ本体が持ち上げられて折り畳み側がその通常状態に戻されるとき、一対の脚は引込位置に動かされることになる。このゴルフバッグスタンドはとても信頼性があることが立証済みであり商業的にも成功している。

20

【0005】

ハギワラ氏の米国特許公報第5497964号が他のゴルフバッグスタンドを開示している。そのゴルフバッグスタンドは、ストラップによって取り付けられているブロックの向かい合った両側に揺動自在に装着されている一対の脚を有する。ハンドグリップは延長部のアッパエンド間で支持されている。そしてスプリング群は、一対の脚を引込位置に偏向させることによって延長部をばらばらにする。一対の脚はゴルフバッグのトップリムに対してグリップを押し込むことによって延長される。

30

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、ゴルフバッグに、新たなカム作動サポートスタンドと分離可能バッグ本体とを備える技術を提供する。

【0007】

【課題を解決するための手段と作用と効果】

本発明では、ゴルフバッグと共に使われるサポートスタンドが開示されている。ゴルフバッグは、ゴルフクラブ群が出し入れされる開放された上端を備えたバッグ本体を有する。サポートスタンドはハウジングを含む。ハウジングは、その内部に形成されていて間隔をもって離れている分岐収容溝と、バッグ本体の開放された上端を保持するトップメンバとを有する。

40

一対のサポートアセンブリのそれぞれは、アームから伸びている脚を伴うアームを含んでおり、収容溝中に装着され、引込位置と張出位置の間で揺動自在である。すなわち、ピボット移動することができる。サポートアセンブリの張出位置では、一対の脚が立て掛け姿勢でバッグ本体を支える。サポートアセンブリの各々は、引込位置に導くように負荷されたスプリングを各々有する。引込位置ではアームが適切な場所に置かれている。そのため、アームの端に形成されたカムの表面は、ハウジング上に配置される。

カムレバーはハウジングに揺動自在にピボット装着されている。そしてカムレバーが押し

50

下げられると、カムレバーはアームのカム表面と係合する。カムレバーのこの移動は、それぞれのサポートアセンブリを張出位置に移動させる。そのため、バッグ本体は立て掛け姿勢にある一対の脚によって支持される。

ゴルフバッグは、バッグ本体の開放された上端を保持するためのトップメンバを含む。さらには、バッグ本体をトップメンバに分離可能に接続するためにファスナ手段を備えている。

【0008】

本発明は、開放された上端を持つバッグ本体を有するゴルフバッグのためのサポートスタンドに関する。このサポートスタンドは、ハウジングと、一対のサポートアセンブリと、一対のスプリングと、カムレバーを有している。ハウジングは、開放された上端に近接した位置でバッグ本体に装着され、上壁と底壁と内端と外端とを有し、さらに、ハウジング内部に形成されていてハウジングの外端から内端にかけて相互に離れていく一対の収容溝を有し、一対の収容溝の各々は、ハウジングの外端に近接した位置においてそのハウジングの上壁に形成された開口を有している。一対のサポートアセンブリは、それぞれのサポートアセンブリに形成されたカム表面とそれぞれのサポートアセンブリに接続された脚を有し、そのカム表面が収容溝に収容されている張出位置とそのカム表面が収容溝のハウジング上壁の開口を貫通している引込位置との間で揺動可能に収容溝に装着されている。一対のスプリングは、それぞれがそれぞれの収容溝に装着され、それぞれのサポートアセンブリを引込位置に付勢するためにそれぞれのサポートアセンブリに係合配置されている。さらに、カムレバーは、一対のサポートアセンブリのそれぞれのカム表面と係合作用するためにハウジングに揺動可能に装着され、一対のサポートアセンブリが引込位置にあるときに大体直立している位置にあり、それぞれのサポートアセンブリのカム表面を押し下げて前記収容溝の中に戻すように移動させることができ、そのために、一対のサポートアセンブリを張出位置に移動させて一対の脚が立て掛け姿勢でバッグ本体を支持する。

【0009】

下記の特徴を備えていることが好ましい。

2. 前記収容溝は、ハウジングの向かい合った両側に形成されている。
3. バッグ本体の開放された上端を取り付けるために、ハウジングの内端から伸びているトップメンバを有する。
4. 前記トップメンバは、前記ハウジングの内端から伸びているループを形成する。
5. ハウジングは、そのハウジング中に形成された一対の間隔をもって離れた挿入溝を有し、かつ、前記トップメンバは、その一対の挿入溝に装着される一対の向かい合った端部を有する。
6. 前記一対のサポートアセンブリのそれぞれは、一端にカム表面が形成され他端にボアが形成されたアームを有し、かつ、脚がボアに装着されている。
7. ハウジングの内端に近接した位置でそのハウジングの底壁に一対の開口が形成されており、かつ、一対のサポートアセンブリが引込位置にあるときに、前記一対のアームと脚がその底壁の一対の開口を貫通して伸びている。
8. ハウジングは、ハウジングの内端に近接した位置に形成された一対の間隔をもって離れた内部壁を有し、前記カムレバーは、一対の内部壁に近接して配置された一対のフランジを有する。一対の揺動軸のそれぞれが、それぞれの収容溝にサポートアセンブリを揺動自在に装着するためにその収容溝を横断して伸びており、さらに、カムレバーをハウジングに揺動自在に取り付けるために、内部壁とフランジを貫通して伸びている。
9. 一対の揺動軸のそれぞれは、一対のサポートアセンブリをそれぞれの収容溝に揺動自在に装着するために収容溝を横断して伸びており、かつ、一対のスプリングのそれぞれは、揺動軸に軸装着されているコイルスプリングであり、かつ、ハウジングを押しながら係合している一端とサポートアセンブリを押しながら係合している他端を有している。
10. バッグ本体は、ハウジング内端に近接した前記収容溝を少なくとも部分的に覆う延長部を有する。

【0010】

11. 開放された上端を持つバッグ本体を有するゴルフバッグのためのサポートスタンドであって、前記サポートスタンドは、サポートアセンブリと、脚と、カムレバーを有している。サポートアセンブリは、開放された上端に近接した位置でバッグ本体に装着されている。脚は立て掛け姿勢でバッグ本体を支持するために前記サポートアセンブリに接続されている。カムレバーは、脚がバッグ本体に並んで配置されている引込位置から、脚がバッグ本体と角度をもって配置されている張出位置に、サポートアセンブリを移動させるために、サポートアセンブリと係合作用するようにバッグ本体の開放された上端に近接して配置されている。さらに、脚は、前記サポートアセンブリが前記張出位置にあるときに、立て掛け姿勢でバッグ本体を支持する。

12. サポートアセンブリを引込位置に導くために配置されたスプリングを更に有する 10

13. バッグ本体の開放された上端を保持するためのトップメンバを更に有する。

14. バッグ本体をトップメンバに分離可能に接続するためのファスナ手段を更に有する。

【0011】

15. 開放された上端を持つバッグ本体と、バッグ本体のその開放された上端を保持するためのトップメンバと、バッグ本体をトップメンバに分離可能に接続するためのファスナ手段とを有するゴルフバッグ。

16. 前記ファスナ手段はジッパーファスナを有する。

【0012】

20

上記の各発明によって、新たなカム作動サポートスタンドと分離可能バッグ本体とを備えたゴルフバッグを実現することができる。

【0013】

【発明の実施の形態】

図1に示すように、一般的に参照番号10によって示されているゴルフバッグは、閉じられた下端14とポケット16、18を備えたバッグ本体12を含む。バッグ本体12はナイロンのような適切な生地で形成されていることが好ましい。バッグ本体12は、ゴルフクラブ（図示省略）が出し入れされる開放された上端20と、その開放された上端20中の仕切り構造22と、ショルダストラップ（キャリングストラップとも言う）24とを有する。ゴルフバッグ10は、バッグ本体12の開放された上端20に近接して装着された本発明のサポートスタンド26も有する。サポートスタンド26は、二点鎖線で示された張出位置（二点鎖線ではバッグ本体12が立て掛け姿勢28にある状態が示される）と、実線で示された引込位置（実線ではバッグ本体12が垂直姿勢にある状態が示される）との間で揺動可能である。剛性を持つ棒状部材13が、バッグ本体12の閉じられた下端14と開放された上端20との間に伸びている。

30

【0014】

図2、3にも示されるように、ゴルフバッグ10はトップメンバ32を有する。トップメンバ32は、バッグ本体12のアッパエンド12aで包まれている。そして図3に示されるステッチ33で固定されている。すなわち、トップメンバ32にバッグ本体12が適切に付けられている。トップメンバ32は、サポートスタンド26が装着される基礎を提供すると同時に、バッグ本体12の開放された上端20を保持するという2つの役目を果たす。好ましい態様としては、トップメンバ32は、ハウジング34上の間隔をもって離れた位置の間を張り渡っている閉じたループである。

40

バッグ本体12に装着されたとき、ハウジング34は開放された上端20に近接して位置している。バッグ本体12はその運び時姿勢30にあるとき、ハウジング34は上壁36と底壁38と内端40と外端42を有している。ハウジング34は、ハウジング34の向かい合っている面である上壁36と底壁38の間に一对の収容溝44、46が形成されている。収容溝44、46は、外端42から内端40に向けて相互の間隔が離れるように配置されている。収容溝44と46にそれぞれ揺動自在に装着（ピボット装着）されている一对のサポートアセンブリ48と50は、引込位置と張出位置との間で揺動可能である。

50

バッグ本体 1 2 の上端 1 2 a は、ハウジング内端 4 0 に近接した収容溝 4 4、4 6 を部分的に覆う延長部 1 2 b (図 2 参照) を有する。収容溝 4 4、4 6 とそこに装着されたサポートアセンブリ 4 8、5 0 は、互いが鏡像関係 (線対称) にあり、同様に作用することは明白である。

【0015】

図 4 に良く示されるように、ハウジング 3 4 の上壁 3 6 に備えられた開口 5 2 は、ハウジング外端 4 2 からハウジング内端 4 0 に広がっている。内端 4 0 に近接した位置でハウジング底壁 3 8 に形成された他の開口 5 4 は、開口 5 2 から部分的にオフセットしている。サポートアセンブリ 4 8 はアーム 5 6 を有する。アーム 5 6 は、一端に形成されたカム表面 5 8 とその反対端に形成されたボア 6 0 とを有する。伸ばされた脚 6 2 は、エポキシ接着剤又は図 4 に示されるピン 6 4 のような通常手段によって、ボア 6 0 に固定されている。アーム 5 6 は収容溝 4 4 に揺動軸 (ピボットピン) 6 6 で装着されて配置されている。そのため、カム表面 5 8 はハウジング上壁 3 6 中の開口 5 2 に近い。ボア 6 0 を有するアーム 5 6 の端は、ハウジング底壁 3 8 中の開口 5 4 を貫通して伸びている。アーム 5 6 は、サポートアセンブリ 4 8 の引込位置と張出位置を提供するための揺動軸 (ピボットピン) 6 6 を軸にして移動可能である。

10

【0016】

図 4 の実線で示されたサポートアセンブリ 4 8 の引込位置では、アーム 5 6 のカム表面 5 8 は、ハウジング上壁 3 6 中の開口 5 2 を貫通して伸びている。そして、アーム 5 6 はハウジングの底壁 3 8 中の開口 5 4 を貫通してハウジング 3 4 からたれさがっている。図 4 に示されるように、コイルスプリング 6 8 は、サポートアセンブリ 4 8 をその引込位置に偏向させるために、一端 6 8 a がカム表面 5 8 に近接したアーム 5 6 を押しながら係合し、そして他端 6 8 b がハウジング底壁 3 8 を押しながら係合して、揺動軸 6 6 に軸装着されている。

20

サポートアセンブリ 4 8 の張出位置では、アーム 5 6 は揺動 (ピボット移動) するので、カム表面 5 8 はハウジング 3 4 の上壁 3 6 と面一である。そして、アーム 5 6 はハウジング底壁 3 8 中の開口 5 4 を貫通しては伸びない。

脚 6 2 はバッグ本体 1 2 に並んで配置されている図 4 中の実線で示されている引込位置から、バッグ本体 1 2 と角度をもって配置されている二点鎖線で示されている張出位置に回転される。

30

【0017】

カムレバー 7 0 は、カム表面 5 8 と係合作用するようにハウジング 3 4 に装着されている。カムレバー 7 0 は、図 3 中の二点鎖線で示された大体直立している位置と、実線で示された押しつけられた位置の間で揺動 (ピボット移動) 可能である。

図 2 に示されるように、一对の揺動軸 (ピボットピン) 6 6、6 6 のそれぞれは、ハウジング 3 4 の内端 4 0 に近接して形成された一对の内部壁 7 2、7 4 を貫通して伸びている。一对の揺動軸 6 6、6 6 は、サポートアセンブリ 4 8、5 0 の一对のアーム 5 6、5 6 を、それぞれの収容溝 4 4、4 6 に装着するのに使われている。内部壁 7 2、7 4 は、互いが平行であり、下方に開いており、キャビティ 7 6 によって互いが隔てられている。

カムレバー 7 0 には、間隔をもって離れている一对のフランジ 7 8 と 8 0 が備えられている。そのフランジ 7 8 と 8 0 は、ハウジング 3 4 の内部壁 7 2 と 7 4 にそれぞれ近接配置されている。一对の揺動軸 6 6、6 6 は、フランジ 7 8 と 8 0 に形成されている一对の孔 8 2、8 2 を通り抜けており、コッターピン 8 4、8 4 のような適切な機械的な止め具によって抜け止めされている。一对の揺動軸 6 6、6 6 は、キャビティ 7 6 に入り込んでいる。

40

このようにして、サポートアセンブリ 4 8、5 0 及びカムレバー 7 0 は、一对の揺動軸 6 6、6 6 によってそれぞれの位置に全て装着され、そして揺動軸 6 6、6 6 を軸にして揺動 (ピボット移動) 可能である。

【0018】

サポートアセンブリ 4 8 と 5 0 の両方が一对のコイルスプリング 6 8、6 8 によって引込

50

位置に導かれるとき、アーム５６のカム表面５８がカムレバー７０の下側に対して圧する。それによって、カムレバー７０を大体直立している位置に維持している。上記は明白である。

ゴルファーがゴルフバッグ１０を肩から外して地面に置くと、ゴルファーの手は、カムレバー７０を覆っているバッグ本体１２の開放された上端２０に置かれることになる。それから、図１中に二点鎖線で示されている立て掛け姿勢２８の方向にバッグ本体１２を傾けることによって、ゴルファーはカムレバー７０を手に取りることになり、カムレバー７０をその押しつけ位置へ下方に押すことになる。それによって、サポートアセンブリ４８、５０を張出位置に移動させることになる。

カムレバー７０とサポートアセンブリ４８、５０の手動移動は、図１中に二点鎖線で示されている張出位置に脚６２群を移動させる。それによって、バッグ本体１２を立て掛け姿勢２８に支持する。

【００１９】

図２に示されるように、トップメンバ３２はハウジング３４と共に一体に形成されていてもよい。しかし、異なったサイズの開放された上端を有するゴルフバッグが用いられていたら、図５に示された変形サポートスタンド２６ａが使われても良い。変形サポートスタンド２６ａにおいて、ハウジング３４ａは、収容溝４４ａ、４６ａに近接して平行である一対の挿入溝８６、８８を伴って形成されている。トップメンバ３２ａの向かい合っている端９０と端９２は、挿入溝８６、８８にそれぞれ挿入されており、リベット９４、９４によってそれぞれ固定されている。

【００２０】

図６を参照すると、バッグ本体１２のアップエンド１２ａは、バッグ本体１２をトップメンバ３２に分離可能に接続するためのジッパーファスナ９６が備えられている。ジッパーファスナ９６は図３に示されたステッチ３３から代えたものである。ジッパーファスナ９６を利用することによって、バッグ本体１２は、所望の異なったスタイル、形、色の他のバッグ本体（図示省略）に交換することもできる。ジッパーファスナ９６の各々の端に、ストラップ９８はヴェルクロファスナーのようなファスナ生地１００を備えている。ストラップ９８群は、ジッパーファスナ９６が偶然開くのを防止するために、ハウジング３４の外端４２に近接して互いに取り付けられている。

【００２１】

いくつかの特定の実施形態を参照しつつ以上に本発明を説明しているが、ここに開示された本発明のコンセプトの基礎を成す原理原則から逸脱することなく多くの変化、修正及び変形をここで記述された発明の細部に加え得るであろうことは、当業者に理解されることである。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明のサポートスタンドを含むゴルフバッグの斜視図である。

【図２】切欠部を伴った本発明のゴルフバッグサポートスタンドの拡大平面図である。

【図３】図２の３－３線部分断面図である。

【図４】図２の４－４線部分断面図である。

【図５】切欠部を伴った変形ゴルフバッグサポートスタンドの図２と同種の部分図である。

【図６】ゴルフバッグの更なる特徴を示している図３と同種の断面図である。

【符号の説明】

- １０・・・ゴルフバッグ
- １２・・・バッグ本体
- ２０・・・開放された上端
- ３０・・・運び時姿勢
- ３２・・・トップメンバ
- ３４・・・ハウジング
- ４４・・・収容溝

10

20

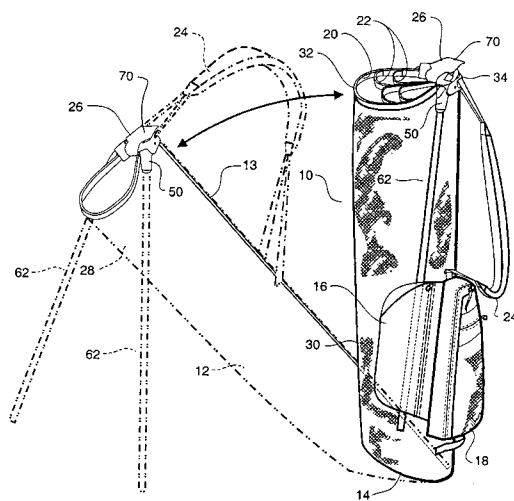
30

40

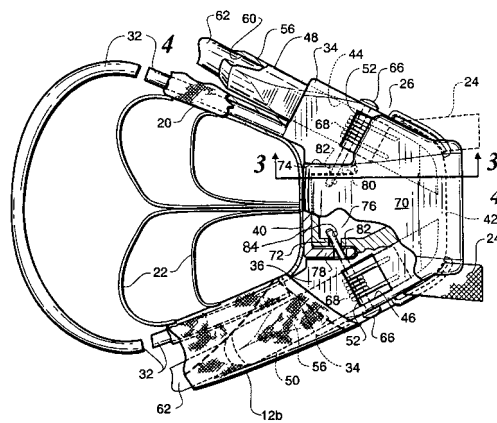
50

- 46・・・収容溝
- 48・・・サポートアセンブリ
- 50・・・サポートアセンブリ
- 56・・・アーム
- 66・・・揺動軸（ピボットピン）
- 68・・・コイルスプリング
- 70・・・カムレバー
- 96・・・ジッパーファスナ

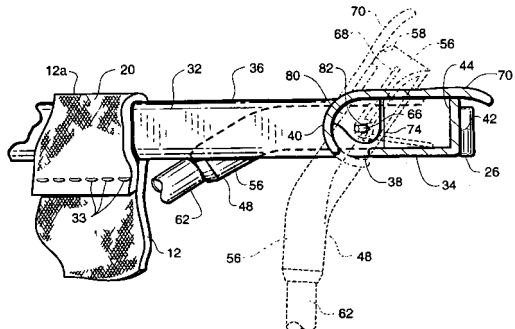
【図 1】



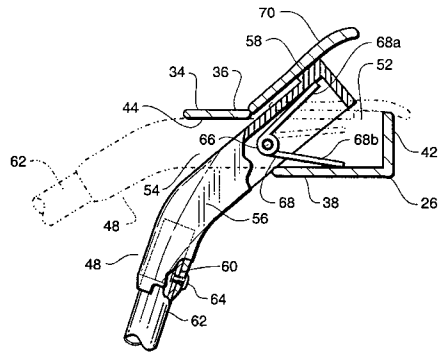
【図 2】



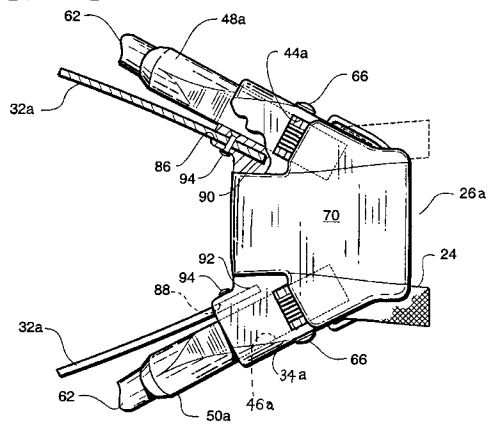
【図 3】



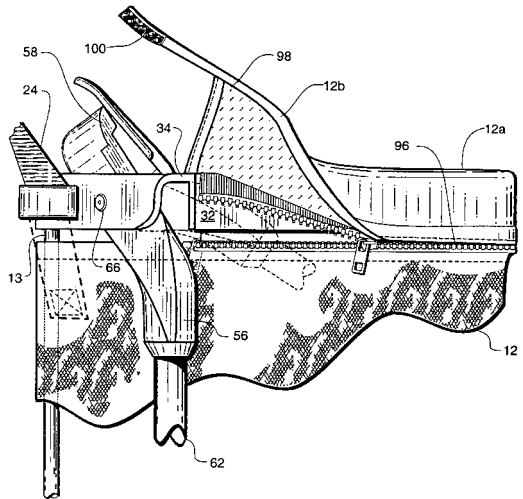
【図 4】



【図 5】



【図 6】



フロントページの続き

- (72)発明者 ジョン エイ. ソルハイム
アメリカ合衆国 85023 アリゾナ州 フェニックス ナンバーフォーティーンズドライブ
14443
- (72)発明者 グレゴリ エム. サグズ
アメリカ合衆国 85029 アリゾナ州 フェニックス ナンバーサーティナインズアベニュー
10820
- (72)発明者 ゲイリ エル. チューシュマン
アメリカ合衆国 85053 アリゾナ州 フェニックス ブルーフィールド 2834ダブリュー

審査官 瀬津 太朗

- (56)参考文献 英国特許出願公開第02214432 (GB, A)
米国特許第04798357 (US, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl.⁷, DB名)
A63B 55/06